北九州市立大学及び旦過市場共同建物新築工事技術協力業務委託に係る 公募型プロポーザル技術提案書作成要領

1 技術提案書について

本技術提案書は、北九州市立大学及び旦過市場共同建物新築工事技術協力業務委託に係る公募型プロポーザルに参加表明書を提出した事業者が提案を行うためのものである。

2 提出様式 様式7：1部、その他様式：各14部提出

- (1) 様式7 技術提案書（表紙）
- (2) 様式自由 業務実施方針
- (3) 様式自由 特定テーマ（1）【**施工計画・安全対策・周辺環境対策**】
- (4) 様式自由 特定テーマ（2）【**全体工期の短縮**】
- (5) 様式自由 特定テーマ（3）【**コスト縮減**】
- (6) 様式自由 特定テーマ（4）【**自由提案**】

※様式自由のものは、それぞれA4縦用紙2枚以内若しくはA3横用紙1枚以内とする。ただし、特定テーマ（1）については、A4縦用紙4枚以内若しくはA3横用紙2枚以内とする。

3 技術提案書の内容

(1) 基本事項

ア プロポーザルは、技術協力業務における具体的な取組方法について提案を求めるものであり、当該業務の具体的な内容や成果品の一部（図面、模型写真、透視図等）の作成や提出を求めるものではない。

イ 具体的な技術協力の作業は、契約後に技術提案書に記載された取組方法を反映しつつ、発注者が提示する資料に基づいて発注者と協議のうえ開始する。

ウ 本作成要領において記載された事項以外の内容を含む技術提案書、この書面及び別添の書式に示された条件に適合しない技術提案書については、提案を無効とする場合があるため注意すること。

(2) 作成にあたり、文字の大きさは10ポイント以上とすること。

※写真、イラスト、イメージ図に添えるキャプションは10ポイント未満でも可とするが、読みやすい大きさであること。

(3) 業務実施方針（様式自由）については、本業務に取り組む上で最も重視する内容（方針）、本業務の取組体制（組織図：指揮命令系統が分かるもの）、配置予定技術者の配置、業務スケジュールなどについて記入すること。

(4) 特定テーマ（様式自由）に記入する内容は次のとおりとすること。

なお、提案は、北九州市立大学新学部棟新築工事基本設計、旦過地区再整備に係るこれまでの検討結果（北九州市ホームページ：<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kensetu/30000002.html>）及び関連資料を踏まえ、以下の内容について具体的かつ簡潔に記述すること。

ア 特定テーマ（１）【施工計画・安全対策・周辺環境対策】

- ・当該建物は、A地区建物（且過地区立体換地建築物）と近接しており、周囲に営業中の商店街があり、工事敷地が狭小である。また、A地区建物が先行して工事中であり、当該建物の工事中に開業予定である。そのため、工事を計画的かつ安全に進めるための、施工計画（本体施工、仮設計画等）、安全対策（歩行者動線確保、周辺交通対策等）・周辺環境対策（騒音・振動・粉塵対策等）についての提案を求める。

イ 特定テーマ（２）【全体工期の短縮】

- ・工事期間中の市場営業や新学部開設スケジュールへの影響を最小限に留めるため、基本設計の成果をもとに、施工者の視点から考えられる工事の全体工期の短縮についての提案を求める。

ウ 特定テーマ（３）【コスト縮減】

- ・基本設計の成果をもとに、施工者の視点からの建物整備費のコスト縮減・ランニングコストの縮減についての提案を求める。

エ 特定テーマ（４）【自由提案】

- ・施工者独自の提案を幅広く求める。

（５）留意事項

ア 提案は文章での表現を原則とし、基本的な考え方を簡潔に記述すること。

イ 視覚的表現は文章を補完するもののみとし、具体的な建物の設計又はこれに類するものに基づいた表現については、必要最小限の範囲において認めるものとする。

ウ 具体的な設計図、模型（模型写真を含む）及び透視図（コンピューターグラフィックスによるものを含む）を使用してはならない。

エ 技術提案書の提出者（建設共同企業体の構成員、業務協力者を含む）を特定することができる内容の記述（具体的な会社名等）を記載してはならない。

オ 特定テーマ（３）のうちコスト縮減提案については、以下の点に留意すること。

- ・別表「コスト縮減提案の対象項目」の条件を満たすものとする。また、同表①～⑦に該当するものは対象外とする。
- ・技術協力業務委託における「コスト管理支援」及び「価格交渉」での活用が可能なものとする。
- ・提案内容が一般的に使用されるものである場合、工事において無償で使用するものとする。ただし、工業的所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。
- ・提案者でなければ用いることのできない技術、あるいは設計者が責任を負えない技術がある場合、建築確認の申請上、提案者を「その他設計者」とする。ただし、提案者が「その他設計者」となりえない事情がある場合には、同技術は採用しない。

カ 優先交渉権者となった者は、技術協力業務の期間中、提案内容を実施設計に反映させること。ただし、優先交渉権者の責によらず、提案内容が設計に反映できない場合においては、この限りではない。

4 技術提案書の提出

(1) 技術提案書の提出は以下による。

- ア 提出様式 : 本作成要領に定められた様式とし片面印刷とする。
- イ 提出部数 : 様式7 : 1部、その他様式 : 各14部提出 (原本1部・副本13部)
 - ・原本がカラーの場合は副本もカラーとする。
 - ・原本は、ホチキス留めせずに、クリップ等で留めること。
 - ・副本は、1部毎に左肩1箇所をホチキス留めとすること。
 - ・用紙サイズに関係なく折らずに提出すること。
- ウ 提出場所 : 公立大学法人北九州市立大学新学部設置準備課 (担当 : 上田、神園)
(住所) 〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
- エ 提出期限 : 令和7年7月3日 (木) 午後5時まで (必着)
- オ 提出方法 : 持参又は郵送 (郵送の場合は、配達証明付き書留郵便に限る。)

(2) その他

- ア 技術提案書の提出は、各提出者1案に限るものとする。
- イ 要求された内容以外の書類、図面等については受理しない。
- ウ 提出された技術提案書は返却しない。

別表「コスト縮減提案の対象項目」

対象項目	変更可	変更不可	条件
A. 共通仮設工事			
・仮設・土工事の工法	○		
B-1. 建築工事（意匠）			
・配置計画		○	
・平面計画		○	
・階層計画		○	
・断面計画	○		・立体道路部分（1・2F）は除く
・立面計画	○		・外観・内観イメージを大きく損ねないこと
・外装仕上げ材・工法	○		
・内装仕上げ材・工法	○		
B-2. 建築工事（構造）			
・スパン割り寸法	○		・柱位置を変更する場合は、店舗区画、通路等の支障とならないこと
・構造断面計画	○		
・コンクリートの工法・仕様	○		
・型枠の工法・仕様	○		
・鉄骨の工法・仕様	○		
・耐火被覆の工法・仕様	○		
C. 電気設備工事			
・照明器具の仕様	○		・必要照度を確保し長寿命型器具とすること
・その他の仕様	○		
D. 機械設備工事			
・衛生器具の仕様	○		
・熱源・空調方式	○		
・その他の仕様	○		
E. 昇降機設備			
・昇降機全般の変更	○		・台数は変更しないこと
F. 外構			
・外構全般の変更	○		・外観イメージを大きく損ねないこと
※対象外とする提案			
①機能・性能及び品質が低下すると予想されるもの。			
②工期の延長を伴うもの。			
③防災性・安全性の低下を伴うもの。			
④環境性能が低下し、また、環境負荷や工事騒音・振動等が増加するもの。			
⑤維持管理の困難さやライフサイクルコストの増加が予想されるもの。			
⑥本プロポーザルにおけるその他の技術提案が成立しないもの。			
⑦その他、コスト縮減提案の主旨に著しく相違するもの。			